

取り組みの概要



第四中学校では、教育課程や日課を見直すことで、放課後の時間にゆとりを持たせ、教師が生徒と向き合う時間、授業準備の時間、部活動等生徒が活動できる時間を確保しています。また、実情に合わせて可能なかぎり業務を削減・効率化することで、職員の負担を軽減しています。

校務DX化による情報共有

- ・行事予定はスプシで共有
- ・時間割もスプシでリアルタイム共有
- ・日課は職員室モニターで共有

教室で情報確認OK!



その1

日課表を見直し勤務時間を適正化

- ・登校時間 7時45分～8時 → 8時～8時10分
 - ・朝の会 10分間 → 5分間(5分削減)
 - ・昼休み 20分間 → 15分間(5分削減)
 - ・下校時間 16時25分 → 16時(通年)
- 生徒の活動は1年を通して16時までに終了する。



	5時間	6時間
登校	8:00～8:10 (8:10着席完了)	
朝の会	8:10～8:15	
第1時	8:25～9:15	
第2時	9:25～10:15	
第3時	10:25～11:15	
第4時	11:25～12:15	
給食	12:20～12:50	
昼休み	12:50～13:05	
第5時	13:05～13:55	
第6時		14:05～14:55
清掃	14:00～14:10	15:00～15:10
帰りの会	14:15～14:25	15:15～15:25
(清掃なし)	(14:00～14:10)	(15:00～15:10)
放課後	14:30～	15:30～
(清掃なし)	(14:15～)	(15:15～)

教育活動はすべて勤務時間内に!

その2

予備時数を見直し

週時数27時間を実現

- 月・・・6時間日課 清掃・会議・打ち合せ
- 火・・・5時間日課 部活動・生徒会活動
- 水・・・5時間日課 部活動・生徒会活動
- 木・・・6時間日課 清掃・会議・打ち合せ
- 金・・・5時間日課 部活動・生徒会活動



その3

始業式以降

職員会議を年間2回へ削減

年間5回あった職員会議を2回に削減した。

①2学期(8月) ②3学期(1月)

職員会議を1回削減すると、それに付随する指導部会・学年部会・文書作成時間も削減される。



放課後の生徒の活動を十分に確保!

会議が減ると放課後にゆとりが生まれる!

成果

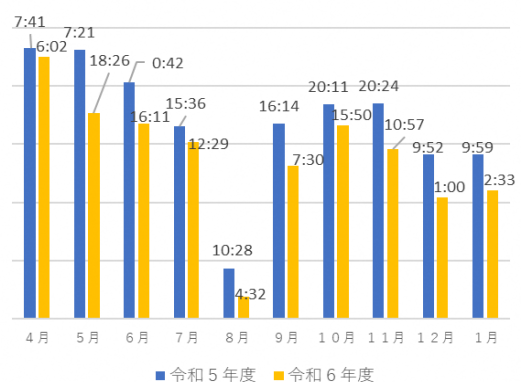
速く帰れるから時間を意識するようになった!
仕事が忙しすぎない。とても満足!!

異動した他の学校で勤められるか心配

R6学校評価【生徒】(R4後期)

- ・生徒が自ら考えたり、関わり合ったりする授業 93.1(88.2)
- ・授業がわかる 91.0(64.9)
- ・友達と対話することにより考えを深める授業 88.9(79.6)
- ・ICTを日常的に活用するような授業づくり 91.5(78.0)
- ・いじめなどがない楽しい集団づくり 86.8(68.8)
- ・困りごとや悩みなどの相談に乗っている 82.6(69.4)
- ・信頼できる教職員がいる 86.3(71.5)

時間外勤務(月別平均時間)



職員1人あたりの時間外勤務(前年度比)は、
年間約70時間、月約7時間の削減に成功しました!